

子育て通信



新しい年を迎え、皆様いかがお過ごしでしょうか。今年も学生共々、子育て広場を
 よろしくお願い致します。

1月は新しい1年の始まりですね。計画は早めにしっかりと立てるべきだということわざ
 「1年の計は元旦にあり」という言葉があります。1年の計画は年の初めである元旦に立て
 べきであり、物事を始めるにあたっては、最初にきちんとした計画を立てることが大切
 だと言われています。このことわざのように、1年の新たな目標を持ち、達成に向けて努力
 していくことで、良い1年を送ることができるようではないでしょうか。皆さんも計画を立て目
 標に向かって有意義な1年をお過ごしください。

さて、お正月といえは日本の伝統的な遊びですよね。子どものころ、家族や友達と独楽
 まわしや羽根つき、凧あげなど日本の伝統的な遊びで楽しい時間を過ごしたことがある人も
 いるのではないのでしょうか。お正月になると見かける光景でしたが、最近ではそんな伝統的な
 遊びをする子どもが減ってきているそうです。でも実は、お正月遊びは縁起の良い意味も含まれている
 といいます。そこで今日は、子どもに伝えたい家族で遊べる日本の伝統的なお正月遊びについてご紹介
 したいと思います。

おすすめの絵本

今私たちの生活圏とけこんでいる干支十二支ですが
 これらは日本だけのものではなく、世界各地に異なる
 十二支が存在します。ベトナムでは丑が水牛であつたソアラ
 諸国では辰がワニに、ブルガリアでは寅が猫となつて
 います。「十二支」の由来や昔話と一緒に、日本と各国の
 文化の違いにも触れてみるのも、楽しいと思います。

❀ 十二支のしんねんかい ❀
 文：みき つぎみ / こぐま社



～あらすじ～

元日に、十二支の動物たちが
 新年会へおせちでお祝いの前
 に、まず語呂のよい言葉にのせて
 それぞれをご紹介し、その伝統的
 な動物たちのイメージを楽しい切り
 絵で届けます。

❀ じゅうにしのおはなし ❀
 文：ゆきのゆみこ / 小学館



～あらすじ～

干支の十二支はどうやって決まら
 ぬのでしょうか？十二支の由来と、猫が
 おずみを追いかけるといふこと
 だけがわかる昔話です。

❀ 十二支のはじまり ❀
 文：高谷正子 / ハルマビル社



～あらすじ～

今も生活の中にとけこんで
 いる十二支。日本には、むかし
 から各地に「十二支のはじま
 りのおはなし」があり、干支を
 知らない子どもにも楽しめ、

み なさんの欲しい物、すぐ分かるための物、旦那さんのための物、みんな大事ななあと感じています。

き ようは子どももたくさん遊んでくれたので、みなさんの話をしっかり聞くことが出来ました。みんなの話を聞いて、やっぱり自分の時間も欲しいなと感じました。

み いろんな楽しみがあったと思います。クリスマスも計画して自分にも子どもにもプレゼントを買ってあげたいなと感じています。

わ 子どもの話を聞いて、ママも楽しそうに話を聞いてくれて、私も嬉しかったです。ママも楽しそうに話を聞いてくれて、私も嬉しかったです。

ク リススって夢があれって考えるだけでも楽しいです。あ、たかいクリスマスも楽しそうに考えています。

前回はお母さんが欲しいクリスマスプレゼントについて話し合いました。普段あまり考えることのないテーマを想像するだけで、新鮮な気持ちになったりリフレッシュしたりすることができるとですね。

じ 子どもの欲しい物を考える機会が少なかったのが楽しかったです。この今年度は自分へのプレゼントも考えています。

このテーマを通して、お母さんたちの素敵な笑顔がもっと増えたら嬉しいです。

株 2/4 元々!!!

A HAPPY NEW YEAR!!!



お願いします!!!

日本の行事 ～ どんど焼き ～



「どんど焼き」とは小正月（1月15日）の行事で、正月の本公飾り・書き初め等を家々から持ち寄り、一箇所に積み上げて燃やすという、日本全国に伝わるお正月の火祭り行事です。火が燃えるのを「尊（とうと）や尊（とうと）」と雑し立てたことから、その雑し言葉が訛ったため「どんど焼き」と言われるようになった、という説もあります。



焼いたお団子を食べると...



その1年間健康でいられ、病気をしない、虫歯にならない といった言い伝えもあります。



書き初めを燃やすと...



書き初めの紙が高く舞い上がると習字が上手になり、免かぎ虫もできるよにならともいわれています。

「どんど」のいわれを思いおこしながら、ご家族の無病息災を願い、それぞれの地域の「どんど焼き」に出掛けてみてはいかがでしょうか？ お飾り、書き初め、お団子もお忘れなく！

伝承遊び



伝承遊びには身体を使った遊びが多くあります。遊びの中で知らず知らずのうちに身体能力が鍛えられたり、根気や集中力が培われたり、バランス感覚が養われたりします。

例えば、けん玉は一見手先だけを使っているようですが実はひざの屈伸を使い、全身でバランスを上手にとらなければできません。独楽回しも紐の巻き方が複雑だったり、回せるようになるには何度も練習しなければ「コツを掴めなかつたりと非常に根気のいる遊びです。しかしその分、上手く出来た時の喜びや楽しみは大きいです。

実習先でも1,2歳児クラスの子ども達が生懸命回す練習をしていました。また、先生が独楽を回すと子ども達は「凄い！」といった表情を浮かべ、「もういっかい。」と言っていました。

親子でぜひ楽しんでみて下さい。

また、独楽には、回る姿から「お金が回る」、「頭が回る」、「仕事がかうまく回る」などの意味が込められているそうです。



手もみ独楽

両手で軸の部分をつまみ、そのまま手のひらを前後にこするように動かし、手を放す。
(1,2歳児から)



ひねり独楽
軸を指の間に挟み捻って回す。
(3歳頃から)



投げ独楽

胴体に紐を巻きつけて回す。